

年末および来年に向けての資材動向・市況 第2弾

株式会社 山西 購買本部

資材需給・価格高騰の要因と背景

現在の世界経済は、世界同時株高の様相を示している通り回復局面にあります。又米国にゆる更なる金利引き上げが予想される中、為替は円安圧力を高めています。

現在の住宅資材価格の高騰は、この世界的な景気回復による旺盛な需要と、為替円安の輸入コストの上昇の2つの要因が大きな背景となっています。 それに加えカナダ・米国における大規模な山火事の影響、マレーシアでの資源の減少など供給力不足が顕在化し、一層の価格上昇圧力を高めています。

現在の主な住宅資材の市況状況

A 為替コスト・・・昨年比約10%の円安が進行	} <u>合計17~20%値上がり</u>
B 産地価格・・・概ね7%~10%の価格上昇	
① 米松原木	産地価格は年初来約7%程度の値上がり → <u>米松平角の国内価格 現時点で5%値上がり</u>
② RW ラミナ (欧州材)	産地価格は年初来約8%程度の値上がり → <u>RW 集成平角の国内価格 現時点で5%値上がり</u>
③ 輸入合板・国産合板	産地価格は年初来10%程度の値上がり → 針葉樹合板での代替 → <u>針葉樹合板 現時点で5%値上がり</u>
④ SPF	産地価格は年初来10%程度の値上がり → <u>SPF ランバー国内価格 現時点15%値上がり</u>
⑤ 国産材	国内需要の盛り上がりと米ヒバの入荷減 → <u>桧土台 現時点で5%値上がり</u>

「 住宅資材 (木材・合板) 5%~10% 価格上昇中!! 」

資材需要・市況 今後の見通し

9月上旬の第1弾「年末に向けての住宅資材動向・市況」の通り資材価格の上昇が鮮明となり、大きなコストアップとなっております。これを全て企業努力で吸収することは困難でありますので、当社としましては今回5%~10%の値上げをお願いする次第であります。

今後は更なる需給逼迫による資材不足と職人不足の問題も顕在化します。当社としましては引き続き安定供給体制の維持を第1に資材の確保に努めますが、資材の価格改定は不可避の状況になります。 得意先様におかれましてもこれらの事情を御理解頂き、改めて御協力、御対応をお願い申し上げます。